

東京言語研究所

2011年度第1回公開講座

東京言語研究所では、広い視野からことばを考えることを主な目的として、公開講座を開催することにいたしました。ことばとかわりを持つさまざまな分野の第一線で活躍する方々を講師としてお迎えします。

今回は、下記の要領で2011年度第1回公開講座を開催いたします。奮ってご参加ください。

〈演題〉「学びの過程のことばを追う」

〈講師〉三宅 なほみ氏 (東京大学大学院 教育学研究科 教授)

〈日時〉2011年6月11日(土) 14:00~17:00

〈会場〉東京言語研究所 (新宿区西新宿 6-24-1 西新宿三井ビル2階)

※ 13階教室から2階会議室に変更になりましたので、お間違えのないようにお願いします。

〈参加費〉一般 1,500円 学生 1,000円(当日学生証提示)

(*2011年度理論言語学講座受講生は500円)

〈申込み〉メールまたはFAXにて下記をご連絡下さい。(定数:先着80名)

①公開講座受講希望 ②氏名 ③住所 ④電話番号 ⑤メールアドレス

※申込み受付は5月9日より (この情報は受講手続きにのみ使用いたします。)

〈講師紹介〉

お茶の水女子大学文教育学部教育学科卒。東京大学大学院教育学研究科教育心理学専門課程修士課程修了、教育学修士。University of California at San Diego, Department of Psychology, Ph.D.

カリフォルニア大学比較人間認知研究所研究員、中京大学情報科学部認知科学科教授等をへて、2008年より現職。その他、東京大学先端科学技術研究所客員教授、放送大学客員教授をはじめ、多数の大学で教鞭をとる。また、現在、文部科学省科学技術・学術審議会委員、日本学術会議連携委員を務める。著書には、「学び方を学ぶ工夫としての協調学習—その理論的背景と具体的な実践例—」、『日本語教育年鑑 2007年版』、独立行政法人国立国語研究所(編)、くろしお出版、「学習科学」、『認知科学への招待 - 心の研究のおもしろさに迫る』、研究社、等多数。

○問合せ先

東京言語研究所

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル16階

TEL:03-5324-3420

FAX:03-5324-3427

E-mail:info@tokyo-gengo.gr.jp

ホームページ: <http://www.tokyo-gengo.gr.jp/>

〈裏面に講義概要〉

【講義要旨】

学びの過程のことばを追う

学習科学と呼ばれる分野が振興しつつある。人の学びの過程をこれまでより詳しく追い、今より質の高い学びを広く一般的に引き起こせるよう学びの過程そのものをデザインして、実践的に効果を確認しつつ学びについての理論をも精緻化しようという研究分野である。そこでは、学習者が自分で考え納得しつつ次の学びを開いてゆくプロセスが重視されるため、従来の授業より学習者自身が考えていることを外から観察できる機会が多い。例えば、授業で扱うテーマについてわかっていることを授業の前後に書いてもらったり、グループで話し合ってもらったりして言語データを集め、分析して、学習がどのような起きるのか、授業形態がそのプロセスをどう支援しているか、さらにはこの後どんな支援が可能かを検討する。学習者の記述や発話から学びの全体像を探ろうという試み自体無謀かも知れないが、これだけでも学びの多様性は見えて来る。今回はまず2人の会話に理解の深まりを捉えようとした研究に立ち戻り、そこから得られる知見を利用してデザインした授業で実際どんなことが分析可能か、具体例を提示して議論に供したい。